

(様式2(1))

事業所名 グループホームはなたば

作成日: 令和 6年 7月 24日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	26	職員間で、利用者の思い・課題を検討する機会が少ない	介護計画に基づいたサービス提供をするため、職員間での話し合いができる機会を多くする	毎日、その日のリーダーがミニカンファレンスが必要な利用者があるか検討する カンファレンス時に次のカンファレンスの時期を決め、観察すべき内容を明確にしておく 電子カルテの「種別」欄の活用、主治医・看護師等関係者の意見も「照会」「事前聴き取り」としてカンファレンス議事録に記録する	6ヶ月
2	35	施設内研修後の振り返りが不十分である	年間計画で行う研修を振り返り、反省点・課題等を全職員で共有する	研修報告書の回覧・月1回のユニット会議で話し合い反省点・課題等を職員間で共有する	2ヶ月
3	11	ユニット会議の議事録が整備されていない	利用者の個別カンファレンスとユニット会議の検討内容が別々に記載されるようにする	同日に利用者カンファレンスとユニット会議を行うが、それぞれの記録用紙に検討内容を記載する会議録は全職員が回覧し押印又はサインをする	2ヶ月
4	8	職員が権利擁護に関する制度について知識と理解を得る機会が少ない	職員が権利擁護に関する制度について知識と理解を得る機会を作る	「権利擁護に関する制度について」を年間研修計画に入れる 新人教育指導に位置付ける	6ヶ月
5	4	運営推進会議の構成委員として知見者の参加が得られていない	定期運営推進会議に地域の知見者の参加が得られるようにする	地域の居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、薬局、等への参加依頼を行う	2ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。